

横浜冷凍株式会社(東証1部:2874)

~「人」、「もの」、「地球」に優しい食品流通のエキスパート~



2018年9月14日 大和IR 個人投資家向け会社説明会in札幌
ホテルオークラ札幌

本日の目次

1. ヨコレイの概要
2. 冷蔵倉庫事業
3. 食品販売事業
4. CSR活動
5. 2018年9月期通期業績予想
6. 株式情報
7. 本日のまとめ

ヨコレイの概要

THE OUTLINE OF YOKOREI

ヨコレイの概要



会社名	横浜冷凍株式会社
設立	1948年5月13日
代表者	代表取締役社長 岩渕文雄
資本金	13,441百万円
事業年度	10月1日より9月30日まで
本社所在地	横浜市西区みなとみらい4-6-2
事業拠点	冷蔵倉庫 国内45拠点、海外6拠点 食品販売 国内24拠点、海外4拠点
従業員数	連結：1,538人 単体：1,094人



最新鋭の冷蔵倉庫
(東京羽田物流センター)



第一号倉庫
(現山内物流センター)

ヨコレイの沿革



- 1948年 5月 横浜冷凍企業(株)設立
- 1949年 4月 第1号倉庫・横浜工場が完成(8百トン)
- 1953年11月 横浜冷凍(株)に社名変更
- 1962年12月 東証二部に上場
- 1991年 3月 東証一部に指定替え
- 2006年 3月 業界初の太陽光発電システム導入
- 2011年 3月 東日本大震災により気仙沼・仙台の2センターが被災
- 2015年 8月 鮭鱒加工業Hofseth International AS (ノルウェー)と包括業務提携
- 2016年 8月 鮭鱒養殖業Fjordlaks Aqua AS (現 Hofseth Aqua AS(ノルウェー))をM&A



1949年 創業者吉橋伊佐男(左)



2011年 東日本大震災(仙台物流センター)

ヨコレイの主な連結子会社



食品販売事業

 株式会社アライフィッシュリーズ

鮭鱒・カニなど水産品の輸出入商社

 株式会社クローブトレーディング

うなぎの輸入・卸売業

Hofseth Aqua AS

サケマス類養殖業(ノルウェー)

Syvde Eiendom AS

水産品加工業(ノルウェー)

冷蔵倉庫事業

 THAI YOKOREI CO., LTD.

冷蔵倉庫事業(タイ)

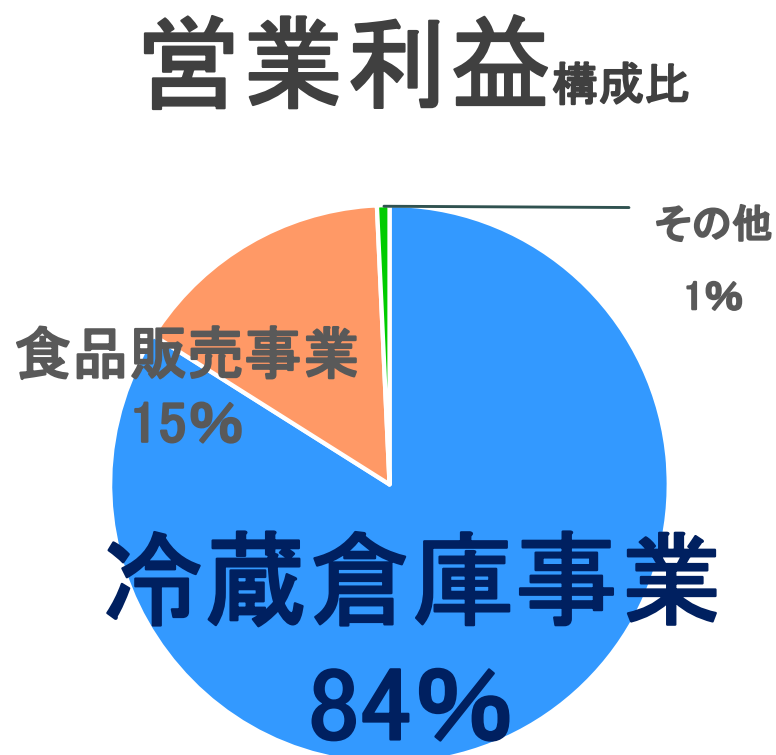
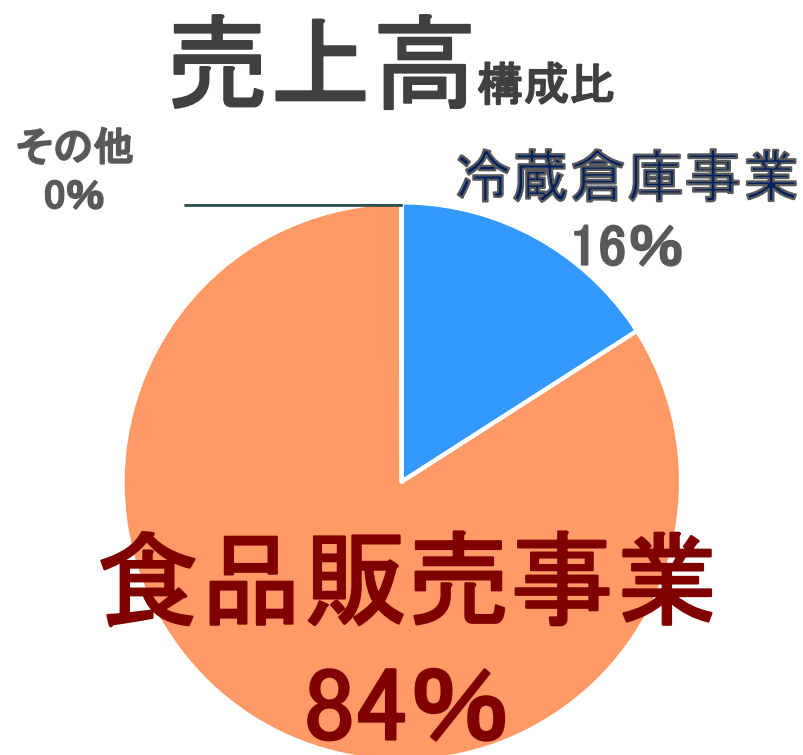
 **Best Cold Chain Co., Ltd.**

低温輸送事業(タイ)

2つの基幹事業



食品販売事業 と 冷蔵倉庫事業



※2018年9月期第2四半期決算数値より

売上の柱が **食品販売事業**

利益の柱が **冷蔵倉庫事業**

冷蔵倉庫事業

REFRIGERATED WAREHOUSING BUSINESS

冷蔵倉庫事業の概要(1)



国内 45拠点を

海外(タイ国) 6拠点を

収容能力合計 約97万トン(約242万 m^3)

今後の新設予定

2018年11月 名港物流センター(仮称) 約22,000トン

※収容能力合計 **99万トン超**に

国内冷蔵倉庫業界収容能力ランキング

第1位 ニチレイグループ (当社調べ)

約145万トン(国内シェア約12%)

第2位 ヨコレイ

約85万トン(国内シェア約7%)



冷蔵倉庫事業の概要(2)



冷蔵倉庫事業とは・・・

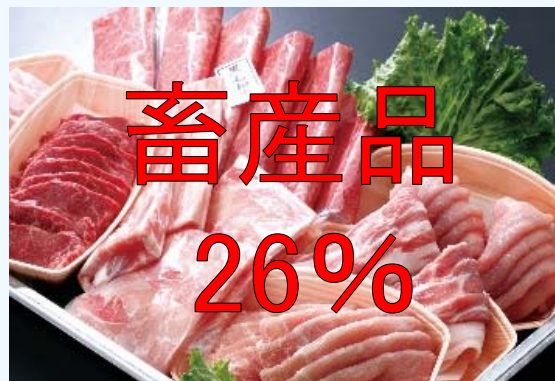
顧客の荷物(主に食品)をお預かりして、いただく料金を収入とする事業

貨物保管による
『保管料』収入
約49%

入出庫による
『荷役料』収入
約21%

付帯作業収入
利用運送 約 9%
通関収入 約 6%
その他 約15%

ヨコレイの冷蔵倉庫でお預かりしている主な荷物



※2018年9月期第2四半期決算数値より

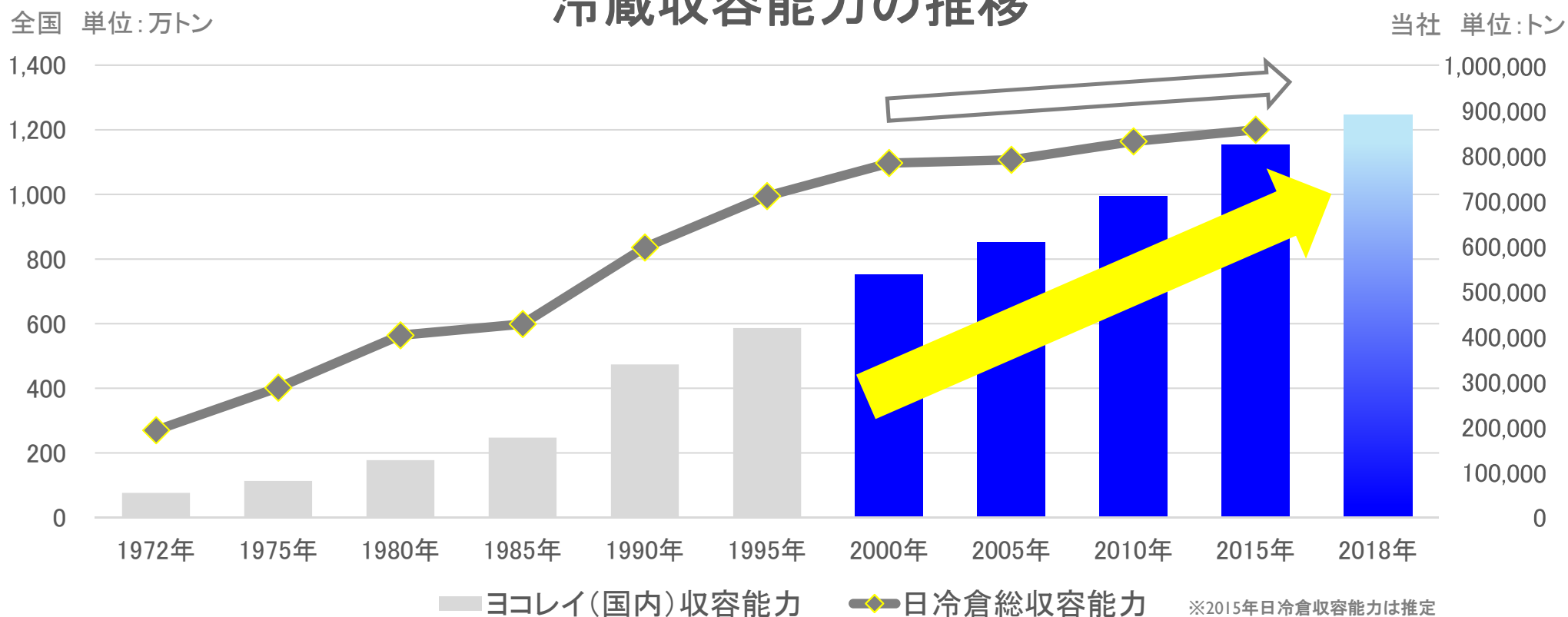
冷蔵倉庫事業の概要(3)



高度経済成長期に業界全体が拡大

ヨコレイは現在も収容能力を伸長

冷蔵収容能力の推移



2001～2015年の間の全国収容能力は約10%増加 ヨコレイは同期間で**収容能力を約66%増加**



冷蔵倉庫業界が抱える2つの大きな課題

施設の
老朽化

フロンガス
製造終了

冷蔵倉庫業界の課題(2)



施設の老朽化

- ◎ **築30年超**の冷蔵倉庫
日本国内の 37%
東京地区では 54%
(東京地区平均築年数32.3年)



- ◎ 一定の物流品質を提供するには、
築30～40年程までが限度
建替えに**多大なコストが発生**
(30億円～50億円) ※2016年10月現在

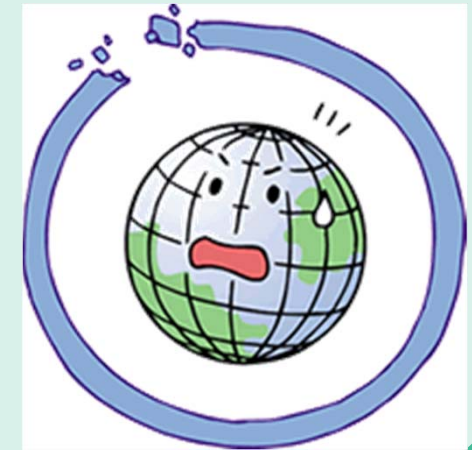
冷蔵倉庫業界の課題(3)



フロンガス製造終了

- ◎従来型冷媒フロンガス(HCFC)
- ◎フロンガスはオゾン層破壊と地球温暖化の原因
- ◎「モントリオール議定書」1988年日本加入
- ◎**2020年フロンガス実質製造禁止**

- ◎冷媒変更に伴う設備投資は
冷蔵倉庫**1棟当たり数億円!?**

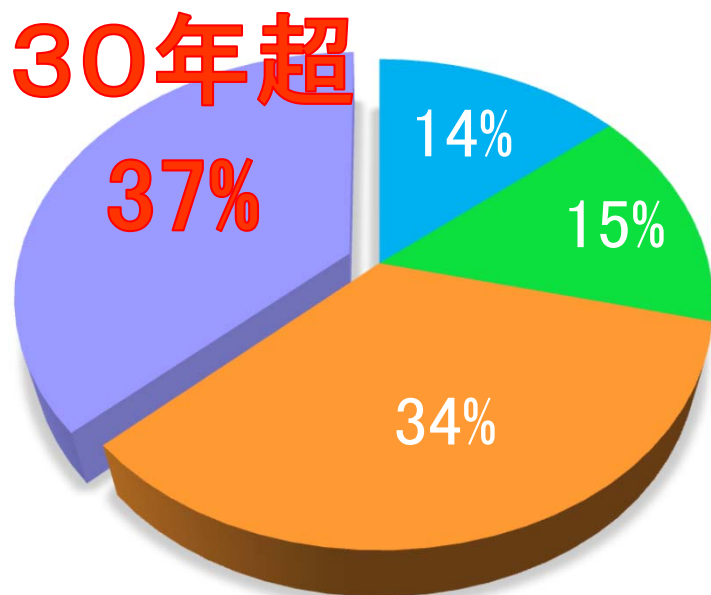


冷蔵倉庫事業の強み(1)



計画的なスクラップ&ビルドにより冷蔵品質を維持

国内業界設備の築年数分布



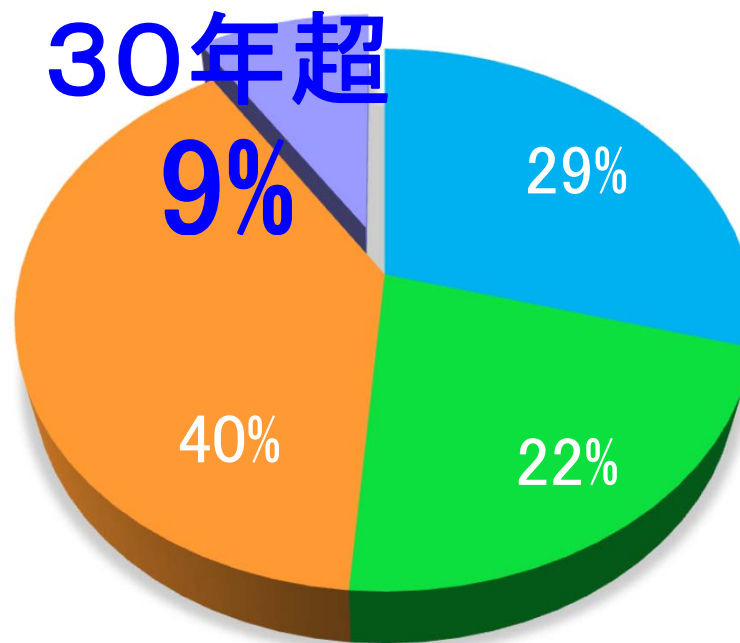
- 10年以下
- 10～20年
- 20～30年
- 30年超

(日本冷蔵倉庫協会資料より当社作成)

業界の平均築年数(収容能力ベース)は**27.1年**

ヨコレイの平均築年数(収容能力ベース)は**18.5年**

ヨコレイ設備の築年数分布



- 10年以下
- 10～20年
- 20～30年
- 30年超

※2016年9月現在

S&Bと並行してノンフロンガス冷凍機器の導入を推進
自然冷媒としてアンモニアと二酸化炭素を使用

現在、全冷蔵設備の**53.1%**が自然冷媒にて運用

冷蔵倉庫事業の強み(2)



最新鋭の設備と培ったノウハウで高品質なサービスを提供

①自然対流の冷却方式(ソンドライ・ストレージシステム)

- ・庫内の温度変化が少なく、冷凍焼けがおこりにくい
- ・エビカ二等の色あせがおきにくい
- ・大型営業冷蔵倉庫ではヨコレイのみ採用



②社員オペレーション

- ・冷蔵倉庫の現場の荷役作業を社員で行う
- ・運営ノウハウ、商品知識、顧客からの信頼感などにアドバンテージ
- ・大手冷蔵倉庫会社では、ヨコレイのみの運用形態



③環境への取り組み

- ・太陽光発電&屋上緑化システム
- ・ハイブリッドデシカント陽圧システム
- ・BEMS(Building Energy Management System)
- ・グリーン経営認証取得



④その他

- ・荷捌き場の低温化
- ・フードディフェンス対応

タイ国における冷蔵倉庫事業



タイで躍進する国際低温物流ビジネス

1989年 タイヨコレイ設立

日系大手冷蔵倉庫企業として初のタイ国進出

1991年 サムロン物流センター竣工

1992年 バンパコン物流センター竣工

2011年 ワンノイ物流センター竣工

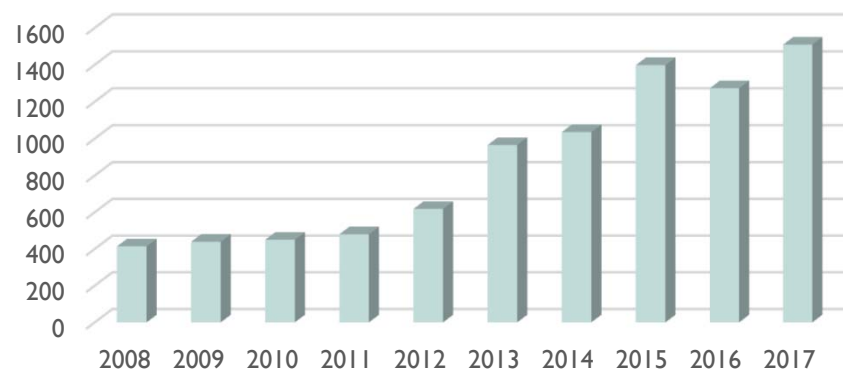
Best Cold Chain Co.,Ltd.設立

2013年 ワンノイ物流センター2号棟竣工

2015年 バンパコン第2物流センター竣工

タイヨコレイ売上高推移

(百万円)



同国内の総収容能力 約10万トン

タイ国内シェアNo.1

同国内の推定シェア 約15~20% (当社調べ)



バンパコン第2
物流センター



食品販売事業

FOOD SALES BUSINESS

食品販売事業の概要(1)



国内 24拠点

海外 4拠点(ノルウェー3、タイ1)

東京、大阪、名古屋、ほか (消費地型営業所)

国内の主要都市に展開。海外や国内の生産地から食材を買付け、食品メーカーや仲卸業者などに食材を供給

十勝、八戸、沼津、長崎、ほか(産地型営業所)

国内の主要な漁港や農産品生産地に展開
自らの目で品質を確かめ買付け、地域の食材を消費地に向け供給



食品販売事業の概要(2)



アライアンスシーフーズ

2009年に、サケマス・カニ類の取扱いを得意とする食品輸出入商社をM&Aして設立。世界各地で水産品を買付けて国内に供給するとともに輸出や三国間取引も手掛ける



クローバートレーディング

2008年にウナギの専門商社をM&Aして設立
国内トップクラスのウナギ取扱い事業者
中国や台湾で買付け、国内に供給



Hofseth Aqua AS(ノルウェー)

2016年に包括業務提携先のHofseth International AS(ノルウェー)と共同でM&A
ノルウェー沿岸に7か所の養殖場を保有する有力企業



食品販売事業の概要(3)



《海外仕入》

東南アジア エビ・チキンなど
 北欧 サーモン・カニなど
 北南米 ポーク・チキンなど

《国内仕入》

北海道 サケ・ホタテ・馬鈴薯など
 東北 イカ・サンマなど
 九州 サバ・アジなど

売上構成比

水産品	77%
畜産品	22%
農産品・その他	1%



売上総利益構成比

水産品	89%
畜産品	7%
農産品・その他	4%

※2018年9月期第2四半期決算数値より

《海外販売》

北米 サケ・ホタテなど
 東・東南アジア サバ・イワシ・ホタテなど
 EU・アフリカ諸国 サケ・サバなど

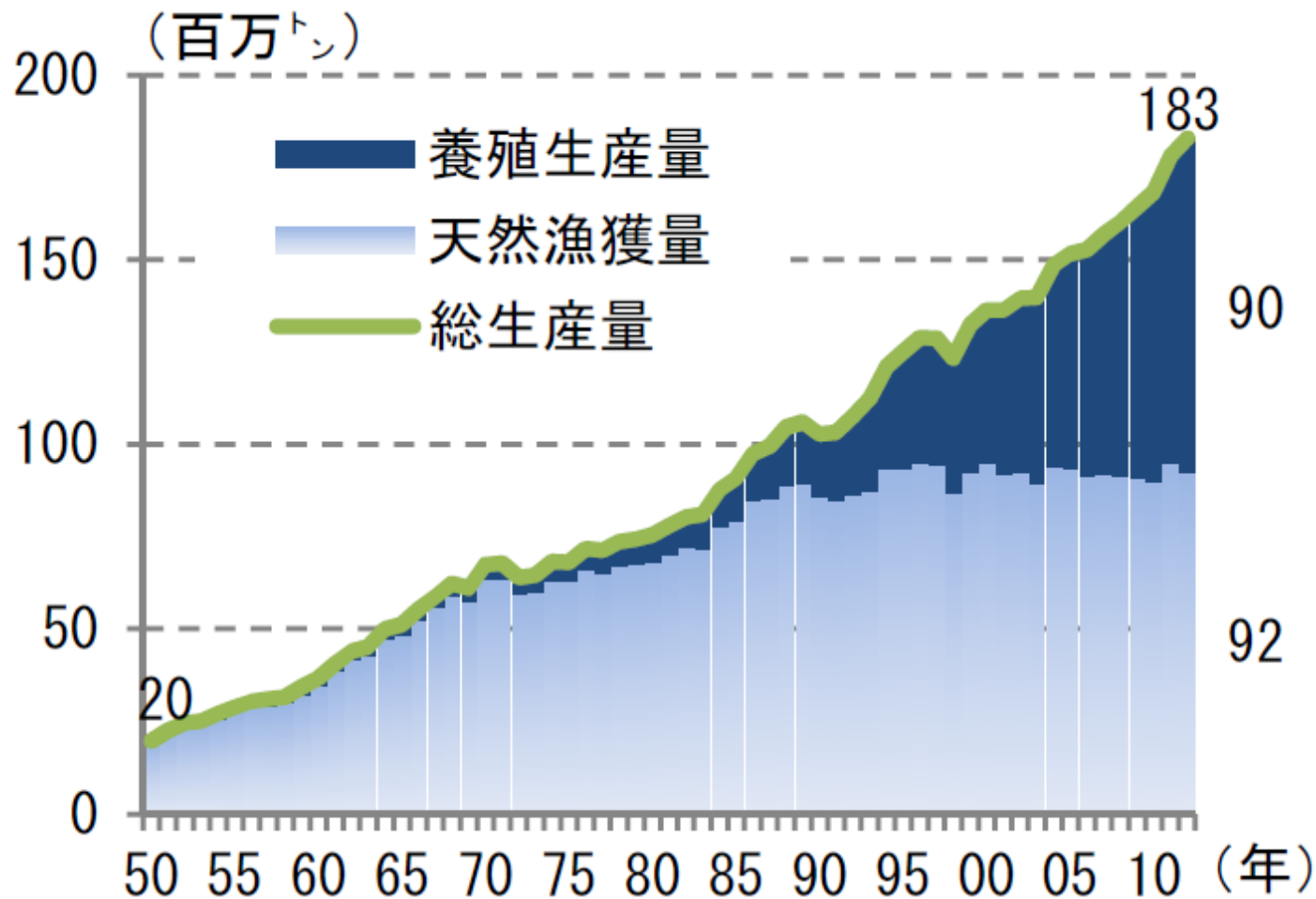
《国内販売》

販売先 商社・仲卸業者・
 食品メーカー・
 外食産業・
 流通チェーンなど

ノルウェーでの事業について



世界の漁業・養殖生産量の推移



出典 DBJ 今月のトピックス(2014年8月21日)

ノルウェーでの事業について



従前



ニッコレイ



孵化

育成

加工

出荷



小売

消費者

現在

ニッコ



レイ

孵化

育成

加工

出荷



小売

消費者

ノルウェーでの事業について



ホフセス・アクア養殖場で育ったトラウトサーモン

CSR活動

CSR ACTIVITIES



環境活動・社会貢献活動

屋上緑化システム

◇冷蔵倉庫事業の3拠点に導入

- 期待される効果
- ・CO2の削減
 - ・冷却効率の向上
 - ・電力使用量の削減



教育・文化・スポーツへの協賛

◇横浜市教育委員会

「心の教育ふれあいコンサート」

含む4事業に協賛

◇青森県八戸市の観光名所「蕪島神社」

2015年11月の焼失からの再建支援

◇J2サッカークラブ「横浜FC」

2017年オフィシャルクラブトップパートナー

太陽光発電システム

◇現在11物流センターに設置

◇タイ国でも大規模発電開始

国内発電量 約295万kWh

タイ国発電量 約 81万kWh



※16/10月～17/9月実績

2018年9月期 通期業績予想

EARNINGS FORECAST FOR THE FY2018

2018年9月期 通期業績予想



厳しい事業環境が続く中、目標の達成に向け各施策に取り組む

(単位:百万円)		17/09期 通期 実績	18/09期 通期 予想※	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高	冷蔵倉庫事業	25,331	26,150	818	3.2%
	食品販売事業	133,655	136,800	3,144	2.4%
	その他事業	58	50	△8	△14.1%
	売上高	159,045	163,000	3,954	2.5%
営業利益	冷蔵倉庫事業	5,695	6,300	604	10.6%
	食品販売事業	1,904	1,265	△639	△33.6%
	その他事業	57	55	△2	△4.1%
	配賦不能費用	2,476	2,620	143	5.8%
	営業利益 (営業利益率)	5,179 (3.3%)	5,000 (3.1%)	△179 (△0.2P)	△3.5%
経常利益 (経常利益率)	5,433 (3.4%)	5,100 (3.1%)	△333 (△0.3P)	△6.1%	
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	3,360 (2.1%)	3,000 (1.8%)	△360 (△0.3P)	△10.7%	
減価償却費	4,699	5,292	592	12.6%	

業績予想※

売上高
1,630億円

営業利益
50億円

経常利益
51億円

親会社株主に帰属する
当期純利益
30億円

※ 平成30年8月10日に業績予想の修正を行いました

株式情報

STOCK INFORMATION

株式情報

(特に記載のない項目は2018年3月31日現在)



証券コード 2874

上場金融商品取引所 東京証券取引所第一部

発行済株式総数 57,453,037株

時価総額 60,038百万円

1単元の株式数 100株

株主数 12,711名

格付情報 日本格付研究所 長期A-

事業年度 10月1日より9月30日まで

定時株主総会 12月

株主総会議決権基準日 9月30日

中間配当基準日 3月31日

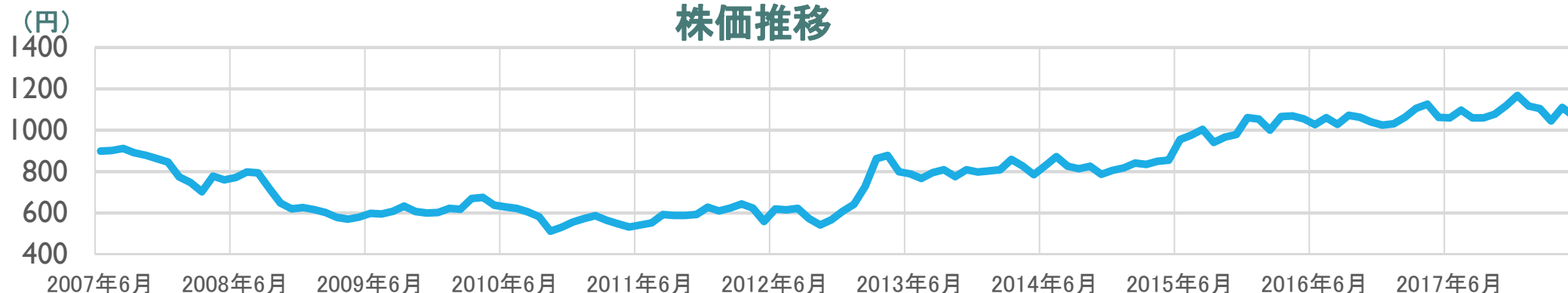
期末配当(優待品)基準日 9月30日

大株主上位7社

大株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,104	5.27
日本トラスティ・サービス銀行株式会社(信託口)	2,245	3.93
第一生命保険株式会社	2,205	3.86
株式会社横浜銀行	2,176	3.81
株式会社松岡	1,618	2.83
農林中央金庫	1,473	2.57
株式会社八丁幸	1,411	2.47

持株比率は自己株式(335,069株)を控除して計算しております

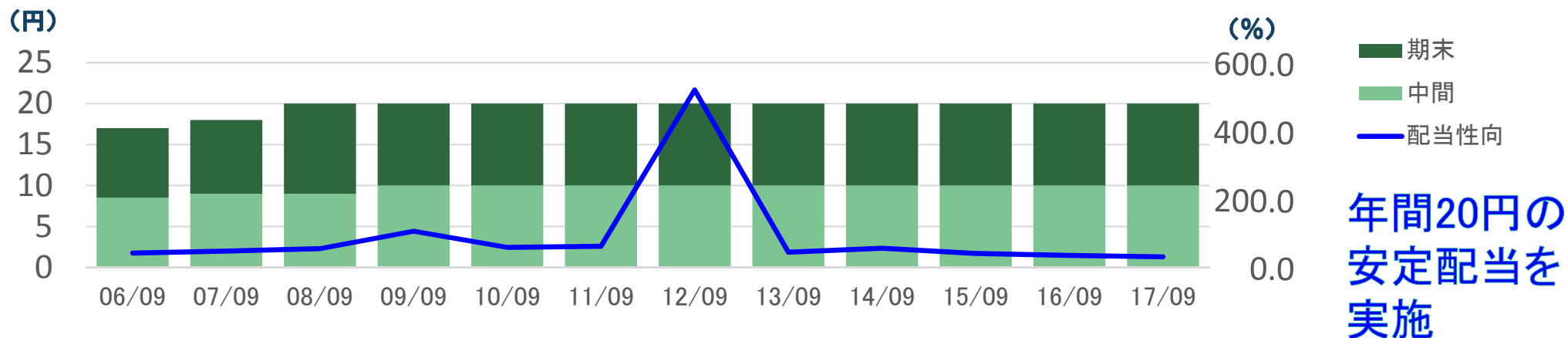
株価推移



株主還元

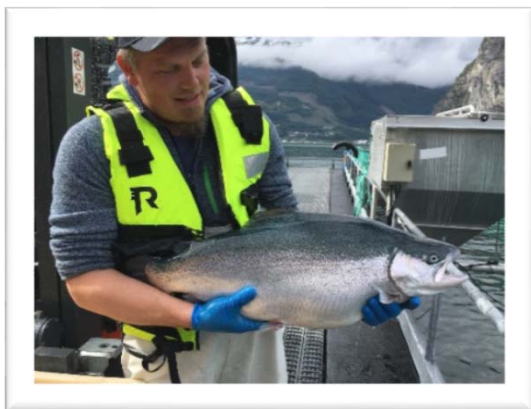


1株当たり配当金と配当性向の推移



株主優待

- (1) 1,000株以上～3,000株未満 保有の株主様
 「自社生産 ノルウェー産トラウトサーモン詰合せ」
 ・トラウトサーモン切身(有塩 70g×3切×2パック)
 ・トラウトサーモン切身(無塩 70g×3切×2パック)
 ・スモークサーモン(50g×3パック)



- (2) 3,000株以上 保有の株主様
 「北海道産のホタテ・いくらセット」
 ・いくら醤油漬(500g)
 ・生食用ホタテ貝柱(1,000g)



今期は会社
創立70周年

期末に記念
配当3円を
実施

本日のまとめ

SUMMARY

本日のまとめ ~ヨコレイの事業戦略~



積極的な投資による事業拡大

- ・冷蔵倉庫事業の拠点数 & 収容能力を増強
- ・最新鋭設備による競争力優位



海外取引推進とリスクコントロール

- ・食品販売事業の輸出入業務強化
- ・市場 & 在庫リスクを低減して利益ボラティリティ圧縮



環境に配慮した事業運営

- ・業界に先駆けて太陽光発電システムを導入
- ・自然冷媒で冷却する地球にやさしい冷蔵倉庫



長期安定配当 & 優待品で株主還元

- ・2008年9月期より1株当たり年間20円配当を継続
- ・ヨコレイグループ取扱商品を優待品としてご提供

ご清聴、誠にありがとうございました



yokorei

Yokohama Reito Co., Ltd.

Memo

本資料に関する注意事項

本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、
将来の数値等に関する記載については、不確実な要素を含んだもの
とご理解下さい。

横浜冷凍(株)
ホームページ



お問い合わせ先

横浜冷凍株式会社

広報IR部 部長 吉田 豊

TEL : 045-210-0011

E-mail: Yutaka-Yoshida@yokorei.co.jp

URL : <http://www.yokorei.co.jp/>